

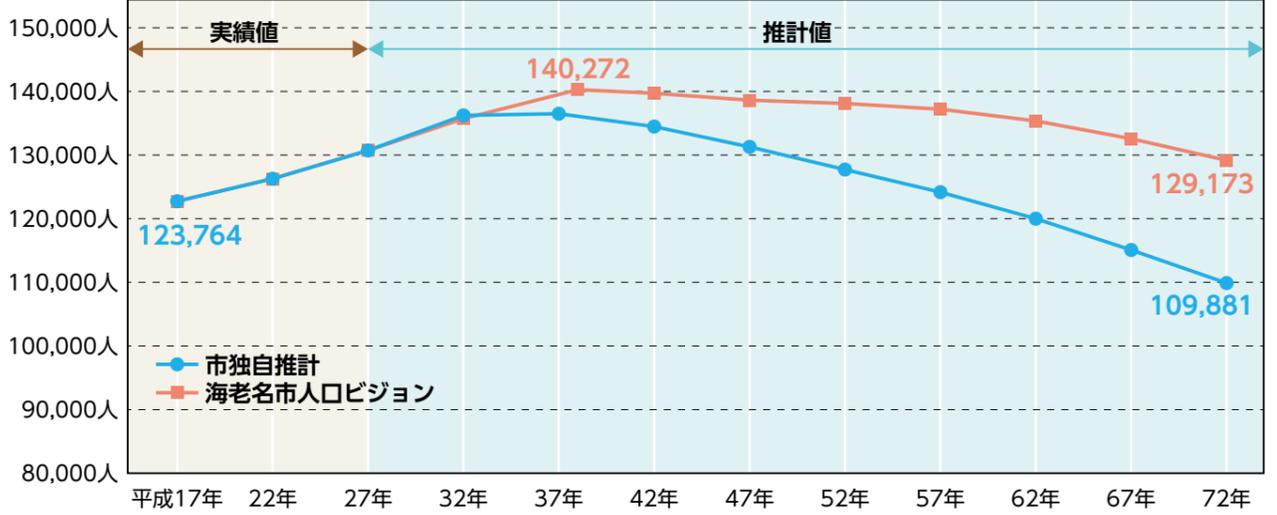
かがやき続ける海老名でいるために

「海老名市人口ビジョン」 「海老名市かがやき持続総合戦略」

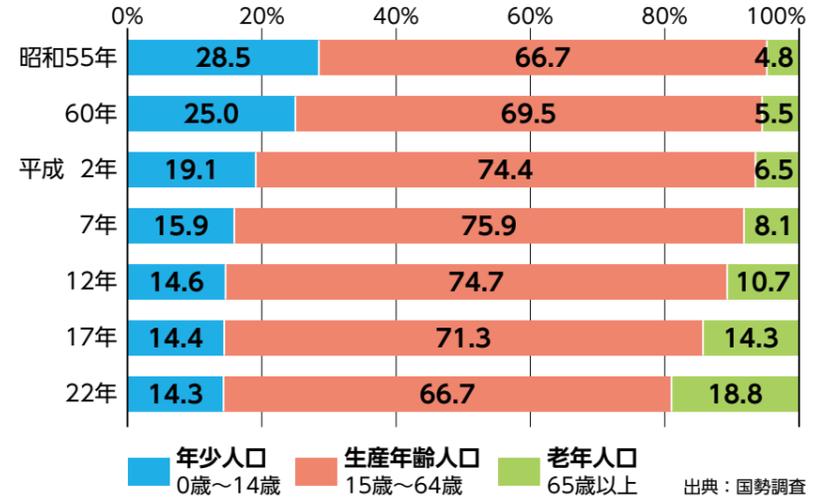
市では人口減少の課題を解決するために、人口の現状と未来を分析した『海老名市人口ビジョン』と、各施策を示した『海老名市かがやき持続総合戦略』を策定しました。

☎ 企画財政課 ☎ (235)4634

(グラフ1)人口の将来展望



(グラフ2)年齢別人口



人口の増減には、出生・死亡による「自然増減」と、転入・転出による「社会増減」の2つの要因があります。市の人口は、近年も出生数が死亡数を上回る「自然増」や転入数が転出数を上回る「社会増」の状態にあり、人口増は今も続いています。しかし、年齢別人口の割合(グラフ2)でみると年少人口・生産年齢人口が減少している一方、老年人口は増加傾向にあることが分かります。

45年先を見据えた「海老名市人口ビジョン」



▲現状の人口分析と将来展望を掲載 (A4判 83ページ)

市の人口は増、年少・生産年齢人口は減

海老名市人口ビジョンは、市の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示したもので、総合戦略の基礎データとなるものです。同ビジョンの対象期間は、平成27～72年度の45年間です。



日本の人口は、平成20年をピークに減少しています。人口減少がこのまま進行した場合、経済力の低下や社会保障の負担増など、国民の暮らしに大きな影響を及ぼす恐れがあるといわれています。

これまで市の独自推計(グラフ1)では、現在の動向で人口が推移した場合、平成72年の時点で約11万人にまで人口が減少すると考えていました。少子化・高齢化による人口減少は、市でも避けることができない喫緊の課題となっています。